

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

「衣・健・住」3領域への集中投資とシナジー創出により、収益性向上と社会的価値の両立を実現

営業利益
1億34百万円百万円

経常利益
10百万円百万円

純損失
46百万円百万円

② 中長期の経営戦略

1. 衣：ブランド価値再構築

「キムラタンらしさ」追求による独自ブランド価値確立。差別化領域への集中戦略でターゲット層絞込。顧客ロイヤルティ向上と収益性改善を実現

3. 住：不動産4つの収益モデル

賃貸事業による安定収益。空き家問題対応で再販事業（イストグループ子会社化）。不動産特定共同事業で小口投資商品提供。地方移住マッチング運営

2. 健：高齢者向け見守り展開

保育施設向け「cocolin」から高齢者対象の室内見守りへ拡大。熱中症アラート機能搭載商品・サービスで新規収益機会創出。ミツフジと資本業務提携

4. アパレル事業：選択と集中

売上拡大より「キムラタンらしさ」再構築優先。ニッチ層向け商品強化。SNS活用デジタルマーケティングで認知再拡大。粗利率・在庫消化率改善

③ 対処すべき課題

① 収益力強化と財務基盤構築

- ・2025年3月期で純損失46百万円計上。収益力一層強化が喫緊課題
- ・キャッシュ・フロー安定化と自己資本充実で経営安定性向上
- ・M&A・アライアンスによる機動的経営判断で企業価値向上

② 不動産事業の基盤強化

- ・イストグループ子会社化（2024年8月）で再販事業を新たな柱に位置づけ
- ・HOUSEリサーチ事業譲受でマッチングプラットフォーム刷新
- ・SwanStyle株式取得（2025年2月）で小口不動産投資スキーム導入

③ 少子化対応の事業展開

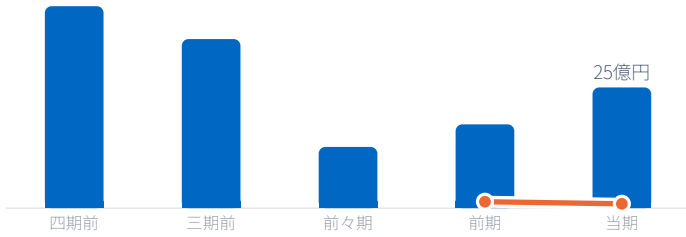
- ・保育領域の国内出生数減少は構造的課題
- ・ウェアラブルIoT応用を高齢者福祉・介護分野へ拡張
- ・2025年3月導入園数・利用園児数順調増加も中長期安定性が課題

面接で使えるポイント

- ・創業100年から次の100年へ向け、衣・健・住3領域でのシナジー創出を目指す経営戦略に共感。
- ・空き家約900万戸という社会課題に対し、リノベーション・再販事業で資源活用と地方活性化を両立させる取組に惹かれた
- ・園児向けcocolinから高齢者向け見守りへの事業拡張、ミツフジとの提携（2025年3月）を通じた社会課題解決型ビジネス…

証券コード 8107

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
25億円営業利益率
3.6%財務健康度
23点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 31.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
472万円
繊維製品内 44位/49社平均年齢
53.5歳
繊維製品内 2位/49社平均勤続
22.5年
繊維製品内 6位/49社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)キムラタン【8107】：決算情報

